

[この記事プリント](#)

TBS News*i*

Tokyo Broadcasting System, News Portal Site

医師・看護師らが「チーム医療」研修

日本のがん医療に欠けるものは何か？ 医療の主人公は患者であって、その患者のまわりを医師・看護師・薬剤師などの医療従事者が緊密な連携プレーをとる。こうした「チーム医療」を本場のアメリカから学ぼうと、60人の医療従事者が合宿研修を受けました。

2泊3日の合宿研修に参加したのは、全国のがん診療拠点病院などから選ばれた医師・看護師・薬剤師、合わせて60人です。



「チーム医療」では、内科や外科、放射線科、病理などの医師や、看護師、薬剤師、ケースワーカーなど、多くの専門家が対等な立場でチームを組み、患者一人一人にとって一番良い治療方針を決めていくこととなります。このため、患者中心の医療が実現されるわけです。

今回は、“チーム医療のリーダー”養成を目的に、アメリカのがん専門病院、MDアンダーソンがんセンターの「チーム」11人が講師として来日。参加者はワークショップでそれぞれの課題に取り組んでいました。

チーム医療では、各々の医療従事者が専門知識の向上を図り、十分なコミュニケーションを積み上げていくことの大切さを学んでいったようです。(12日03:53)

Copyright© Tokyo Broadcasting System, Inc./ Japan News Network